

組み立てを考え物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李 錦玉 作

「三年とうげ」がどのように組み立てられているかを考え、「あらすじマップ」にまとめよう。

【あらすじマップについて】

○目的 自分の物語を書く時の組み立てメモにつながるよう、「三年とうげ」でマップにまとめ、あらすじをとらえさせる。
 ○使い方 ①④の場面に合わせて記入させ、②で起きる出来事を中心に物語が展開することを記入しながら確認させる。自分の物語を書く時も利用させる。

- ① はじまり(時)
- ② 出来事の起り(時、人物、どのように、なぜ)
- ③ 出来事の変化(何を思いついた)
- ④ むすび(最後どうなった)

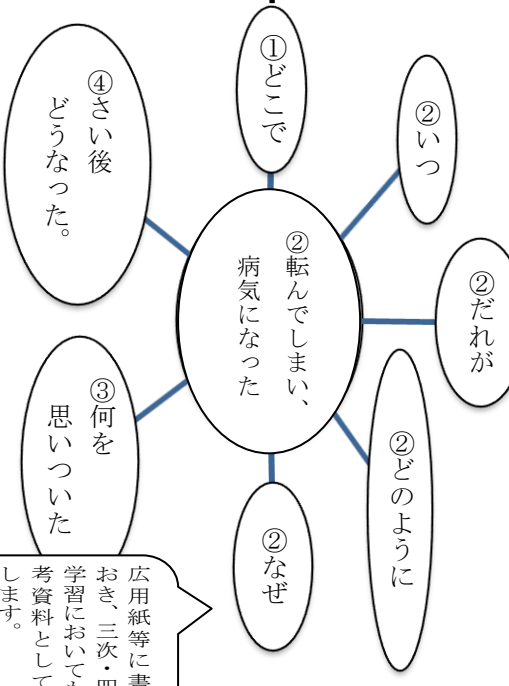
書き方の例

ため息が出るほどよい眺め

あまり高くない、なだらかなとうげ

三年とうげ

言いつたえ



3 / 12 時間目 指導略案 使用するワークシート③
 活動のねらい

「三年とうげ」の組み立てを考えながら、出来事を中心に「いつ」「どこで」などの事柄を、あらすじマップに整理しながら読むことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を基に、本時は、「三年とうげ」を読んで、物語の大体の内容をあらすじマップを使って考え、物語全体の組み立てをとらえていくことを確認する。

2 「三年とうげ」の全文を読み、四つの場面に分けて構成を確認する。

① 「三年とうげ」を読んで場面分けをする。
 ○ 時を表す言葉や登場人物の様子の変化などを話し合いながら、四つの場面に分け、「はじまり」の部分、「出来事(事件)が起こる」部分、「出来事(事件)が変化する」部分、「むすび」の部分の四つで構成されていることを確認する。

3 「三年とうげ」のあらすじマップを書く。

① 「いつ」「どこで」などの事柄を読み取ってあらすじマップに書き入れ、結び付けていく。
 ② 「はじまり」は①、「出来事が起きる」部分は②、「出来事に変化する」部分は③、「むすび」の部分は④という場面の数字をマップに書き入れる。
 ○ まずは、一人で読み取らせていき、後で、学級全体で物語を読み取っているながら確かめ合い、あらすじマップをいっしょに作っていくようにする。

評価 物語の組み立てを考えながら、出来事を中心に「いつ」「どこで」などの事柄を、あらすじマップに整理しながら読んでいる。

4 本時を振り返り、次時について知る。

○ 次時は、前半の部分を読み取っていくことを確認する。